

## 令和元年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

### 【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を行えるよう取り組んでまいります。  
また、医業収益の向上、経費の削減に取り組み、安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

### 【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	安定した経営基盤の確立	C

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	多様なニーズに対応できる安全安心な医療体制の構築
---------------------	--------------------------

活動目標
安全安心な医療提供体制を構築するため、定期的に各種病棟運営委員会を開催してまいります。
近隣の医療機関及び関連大学病院との情報交換の機会を設けます。

具体的な取組実績
緩和ケア病棟運営委員会及び地域包括ケア病棟運営委員会をそれぞれ定期的(月1回)に開催し、円滑な病棟運営に努めました。
柏原市医師会会員を対象とした症例検討会を11月に開催するとともに、6月には大阪市立大学医学部附属病院医師を講師に招請し市民公開講座を開催しました。また、近隣の診療所等を訪問し、連携の強化に努めました。(訪問実績:病院、診療所52件)

達成目標
円滑な病床機能の転換を進めます。
地域の医療機関及び関連大学等との連携を強化します。

達成状況	達成度
平成31年4月からの病床転換(地域包括ケア病床44床)及び令和元年10月からの病床転換(緩和ケア病床6床)については、いずれも支障なく円滑に転換することができました。	A 達成
紹介率が、59.9%(平成30年度)から64.2%(令和2年1月末現在)に上昇しました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
急性期病床に加え、地域包括ケア病床44床を開設するとともに、緩和ケア病床を6床増床し、多様な医療ニーズに対応できる病床機能の確保に努めました。 また、地域の医療機関との連携を深め、基幹病院としての役割を果たすための取組を引き続き進めてまいります。

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 2	安定した経営基盤の確立
--------	-------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	医業収益の増加と経費の削減に努め、資金不足額の減少に取り組めます。
---------------------	-----------------------------------

活動目標
病床稼働率を向上させるため、緩和ケア病床の増床を行います。
経営改善に向けた検証、検討会議を開催します。

具体的な取組実績
令和元年10月から急性期病床6床を病床転換し、緩和ケア病床を17床から23床へと6床増床しました。
令和元年7月以降、経営コンサルタントの支援を受け、集患対策、効率的な診療内容の検証など経営改善に向けた取組を進めました。

達成目標
前年度からの医業収益の増加を目指します。
前年度からの医業費用の抑制に努めます。

達成状況	達成度
令和2年1月末日時点での令和元年度の医業収益は約35億8,000万円となり、前年度比較で約9,200万円の増収となりました。	A 達成
令和2年1月末日時点での令和元年度の医業費用は約35億6,000万円となり、前年度比較で2,800万円増加する結果となりました。	D 未達成

総合評価・総括
令和元年度は地域包括ケア病棟の開設、緩和ケア病棟の増床等を行い、医業収益の確保に努めました。しかしながら、外来収益の減少や委託料の増加が影響し、目標(資金不足額の減少)を達成することはできませんでした。